



(第5期)第15回まつもと子ども未来委員会の報告

令和2年1月24日

第5期の第15回まつもと子ども未来委員会を、令和2年1月19日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、31人の委員のうち、15人の委員、2人のサポーターが出席しました。

今回は、「第2次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」(案)について、こども育成課から子どもたちに概要を説明し、計画案に対する考えについて話し合いました。

☆ 担当者から8つの施策の方向について概要を説明

- ①子どものいのちと健康を守り大切にする環境づくり
- ②子どもの権利の普及と学習への支援
- ③子どもの相談・救済の充実



- ④子どもの意見表明・参加の促進
- ⑤子どもの居場所づくりの促進
- ⑥子どもが地域で健やかに成長するための支援
- ⑦子どもの育ちを支援する環境づくり
- ⑧保護者や支援者への支援の充実

☆ 子どもたちからの主な意見

- ・子どもには全体的に分りにくい。
- ・ポケットティッシュを配るより、繰り返し使えるファイルや下敷きの方が良い。
- ・こころの鈴の相談件数が多いので、相談できるスペースがあることが大切。



- ・学校の授業でもっと「いじめ」をなくすために効果のあるものになると良いと思う。
- ・こころの鈴へ電話をかけても良いのか迷ってしまい掛けられないことがある。
- ・未来委員会は、提言できる機会があるのが良い。

次に、松本市子どもの権利に関する^{しょうれい}条例にもとづく取組みを知ってもらうため、市と長野朝日放送が作成した^{しせいこうほうばんぐみ}市政広報番組を、みんなで見ました。

番組名：市政広報番組「ぐるっと松本」

この市政広報番組には、まつもと子ども未来委員会も協力し、^{かつどう}委員会の活動の様子や^{はくぶつかん}博物館を見学する様子の^{さつえい}撮影、子どもの権利フォーラムでの^{しちょうていげん}市長提言の様子の撮影やインタビューに^{おう}応じました。



番組では、^{じっさい}実際に子どもたちが活動する様子が紹介され、笑い声や^{かんき}歓喜の声が上がっていました。

また、この委員会の取組みが番組として放送されたことに、^{たっせいかん}達成感や^{じゅうじつかん}充実感を感じた子どもたちも多くいました。

次回の委員会は、2月2日（日）にあがたの森文化会館で行います。